

その他の土木工事業における建築物、構築物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	14~15	現場作業が終了し、現場作業員は後片付けをしている状況を見守る中、三面水路側にバランスを崩し、転落した際に、水路側のコンクリート杭に股間を強打し、負傷する。	45	—
3	9~10	農地災害の現場で、小口止めコンクリートの脱枠を行っていたところ、小口止めコンクリートが倒れてきて避けようとしたが、地面に雨水が溜まっており地盤が悪かったため避けきれず、土砂（裏込砕石を入れる場所）とコンクリートに挟まれた。	62	1~9
4	12~13	監査廊部のインバートのメタルフォーム上にて丸鋸で材料を切っている際、材料を取ろうとした時に滑って転び、左足大腿部の裏側を強く打った。	46	10~29
5	11~12	倉庫において、組んでいる棚に乗るため近くにあったトラックから登ろうとしたところ、バランスを崩して地面に飛び下り、両足の足首と甲を計5ヶ所骨折した。 (棚の高さ2.5m、トラックの一番高い所2.3~2.5m、トラックと棚の間50cm程度)	25	10~29
6	13~14	工事現場で作業移動中、足元がふらつき、手をついた所に型枠固定金具があり、手に突き刺さり、左手の平を切った。	54	10~29
6	11~12	公園内の石垣にて、石垣に生えている草の除去作業中、擬木柵にメインロープを緊結し作業を行っていた。その際、擬木柵にメインロープのフックをしっかりと掛けていなかったため、メインロープが外れ、4~5mの高さから転落した。	38	1~9
		会社借用の資材置場に、アスファルトを砕いた片を捨てに車両にて行い、その後、		10

7	9~10	アスファルト片の状況を確認していたところ、草が水路に被さっていたのを知らず誤って転落したもの。	38	~ 29
7	15~ 16	資材置場で仕分け作業中、足がもつれて転倒し、左手を単管にぶつけ負傷した。	61	~ 9
10	11~ 12	工業作業場で車庫工事の準備をしている時、U次溝（450サイズ）の移動中、U字溝とU字溝の間に左手薬指を挟んで負傷した。	24	~ 9
12	6~7	PA内の清掃員倉庫入口にて清掃作業準備中に、入口にある17cmの段差に躓き、左肩から転倒した。	64	~ 9
12	15~16	自社の資材・車両置き場にて、土場の大掃除中に、高所の物置を片づけたあと、脚立で降りるときに足がもつれ、地面に飛び降りたときに負傷した。	39	~ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)